

森づくりへの理解と参加を促す取組

高知県の事例（森林環境税H15.4～）

(1) 森づくりへの理解と参加を促す広報事業

多様な媒体によって、幅広い県民を対象に県産材の利用など一人一人の行動と森林保全のつながりをPRし、適切な森林管理を促進

[H16 実施概要]

- ・新聞広告等：新聞広告(10,11月)、広報番組・スポットCM放送(10～12月)
- ・学校教材用ビデオ制作：ビデオ「守れ！いのちの森」の制作
- ・広報用パンフレットの作成：森林環境税やこうち山の日などの紹介

(2) 森の情報発信事業

県民が森の情報を身近な日常の中で容易に受け取れるよう、県民に向けた情報の発信拠点（ホームページ「生き生きこうちの森」）をつくり様々な森の情報を提供

[H16 の主な情報発信等]

イベント情報、森の日記（体験談）、体験学習、山の仕事紹介、元気な森づくり情報、木をつかって森を守る情報、木造住宅や木製品の情報、掲示板やご意見箱 等

(3) こうち山の日(11月11日) 推進事業

県民一人一人が豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山を守る活動の重要性等に対する理解と関心を深める取組

[H16 実施概要]

- ・イベント：山師達人選手権大会（丸太の早切りリレー、丸太引きリレー等）
- ・山の学習支援事業：こうち山の日間伐体験、各種森林環境教育の推進

(4) 森林ボランティア活動推進事業

森林整備を実践するボランティア団体の活動を支援し、間伐や荒廃竹林の整備など適切な森林管理を推進

[H16 実施概要]

- ・機械器具等の支給：新規設立の9団体
- ・間伐の実施に応じて地域通貨を交付：7町村、約25ha

岡山県の事例（おかやま森づくり県民税H16.4～）

(1) おかやま森づくり情報発信事業（県民への情報提供）

県民を対象として、テレビ・ラジオ、新聞・広報誌等による森林・林業のPRを実施し、森林の役割や現状についての関心や理解を深めるもの

[H16 実施概要]

- ・「森の番人マモルジヤ」テレビCM放映95回、テレビ・ラジオ広報11回
- ・新聞広告1回、広報誌36市町村、パンフレット1万部など

(2) ゆめ・みらい・おかやまの森づくり推進事業（県民参加による森づくり）

幅広い県民の理解と協力を得て、県民参加の森づくりを推進するもの

[H16 実施概要]

- ・ボランティア団体の育成強化のための研修会開催等、森林ガイド28人の養成
- ・県民参加の森づくり：地域の児童生徒や森林ボランティア団体の協力を得て、約4万本のドングリ苗を育成し植樹等を実施(延べ2,500人、植樹5千本)
- ・家族の森づくり：結婚や出生等の記念としてドングリポット苗を配布し、それを家庭で育てて記念植樹(延べ200人、植樹面積約4ha)
- ・里山ふれあい創造事業：地域住民と所有者が協力して、荒廃した里山の整備・再生を行い、自然観察や体験学習の場として活用

(3) 環境学習総合推進事業

森林に関する学習環境を整え、森林の大切さを学ぶとともに、児童生徒が森林に関心を持ちその保全等に積極的に関わる能力を育む

[H16 実施概要]

- ・エコスクールプロジェクト：高校生を対象とした指導者養成講習会（3回、54人）、高校生が講師となる小学生向け森林学習会の開催（2回、103人）
- ・森と水の交流学習：地域学習パンフレット配布(約9千部)、森林・水源地の体験学習及び調査（6小学校、延べ12回、169人）

(4) みどりの大会開催事業（森づくりのための人材養成）

児童生徒や関係者が一同に集まり、様々な野外体験や交流活動を通じて、将来にわたってみどりを守り育てていく心を育む

[H16 実施概要]

- ・開催日及び参加者：H16.10.2,参加者：600名
- ・主な内容：少年隊活動発表、植樹・育樹活動、樹木観察、木工クラフトなど

大分県の事例（森林環境税H18.4～）

(1) 県民総参加の森林づくり推進事業

① 新たな森林づくり普及啓発事業

- ・ 広報、おおいたの森写真コンテスト等

② 豊かな国の森づくり大会の開催

- ・ 中津市で開催、NPO との協働

③ 新たな森林づくり推進体制整備事業

- ・ 「基金」運営管理のための委員会の設置
- ・ 地域独自の森林づくりをすすめるための「流域協議会」の活動支援

(2) 森林づくりボランティア推進事業

① 森林づくりボランティア支援センター事業

- ・ ボランティア情報の収集発信、森林づくり通い帳の管理等の実施

② 森林づくりボランティア活動支援事業

- ・ 森林づくりを行った団体や個人に活動支援券（＝地域通貨券）を交付

③ 森林ボランティア技術向上事業

- ・ 知識、技術向上を高めるための講座を習熟度別に開催

④ 森林づくり提案事業

- ・ 一般公募によって NPO 等が行う森林づくりボランティア活動を支援

(3) 森と海をつなぐ環境保全推進事業

上下流域の住民が一体となって海岸に漂着した流木等の処理活動の実施

(4) 遊び学ぶ森林づくり推進事業

① 子どもの森整備事業

- ・ 身近な森林に遊歩道等を整備し、子どもたちが気軽に学び遊べる森を整備

② NPO 等による森林体験活動の実施

- ・ NPO 団体等が行う子どもの森林体験活動に対し助成

③ みどりの少年団育成事業

- ・ みどりの少年団等を対象に、日本を代表する森林（屋久島）で体験研修を実施

④ 次代を担うエコキッズ育成事業

- ・ おおいたエコクラブの子ども等森林自然体験の少ない子どもたちを対象に、森林自然体験学習等を実施

⑤ 親子でふれあう自然林調査事業

- ・ 自然公園の森林保全のあり方等について、親子と NPO が協力して調査検討

(5) 森林環境学習指導者養成事業

教育関係者、NPO、みどりの少年団、エコクラブ等（大人）を対象に森林環境教育ができる指導者を養成

石川県の事例

(1) 緑や森づくりの重要性を県民に普及する活動（森林管理課）

- ・ 県民みどりの祭典：毎年4月29日に県森林公園で、県内の緑の少年団や県民等を対象に緑の大切さを普及広報
(これまでに23回開催、毎年の参加者：約2,000名)
- ・ 県民森づくり大会：森林ボランティア等の参加のもと、森林に対する県民意識の醸成を図るために毎年開催
(H17.10.8に県森林公園で開催、参加者約130名)



県民みどりの祭典



県民森づくり大会

(2) 自主的な森林整備・保全などを行うボランティアの育成（森林管理課）

- ・ 森林ボランティア活動の指導的役割を担うフォレストサポーターの養成
平成17年度養成数：18名（H12から延べ138名養成）
- ・ 子供達に対する森林環境教育の実施
県内の小学校で「森と田んぼの学校プロジェクト」を実施
(H12から延べ38校で森林体験事業を実施)



森林観察会



シイタケ原木づくり

(3) ボランティア団体等による郷土の森づくり活動に対する支援（森林管理課）

- ・ 石川フォレストサポーター会が輪島市内の里山林で保全協定の締結
期間：H17.7～H20.6（3年間）、面積：14ha、作業内容：下刈、間伐等
- ・ 市民等が参加する郷土樹種による森づくり活動の実施
H17 開催地：4カ所（金沢市(2)、加賀市、羽咋市）
- ・ 里山オーナー制度による市民の森づくり
H14 から金沢市等で都市住民に里山林を貸出（62区画、0.1ha/区画）



石川フォレストサポーター会（作業終了後）



郷土の森づくり（金沢市）



里山オーナー制度（現地説明会）

(4) 里山保全再生協定（自然保護課）

- ・ 里山の土地所有者と里山活動団体が締結する協定を知事が認定
- ・ 交付金による初期活動経費の助成
- ・ 指導者の派遣、講習会の開催等

（H16年度からこれまでに6協定を認定）



(5) 夕日寺健民自然園（自然保護課）

- ・ 里山活動の拠点施設として昭和55年度から整備 < 77 ha >
- ・ 茅葺民家の移築（H19秋オープン予定）
- ・ 「いしかわ自然学校」里山のまなび舎

＊里山保全ワーキングホリデー（里山保全活動リーダー会に委託）

県民参加による下刈り、間伐、遊歩道整備、希少種の保護復元等のボランティア活動：年4回（H18）

＊里山保全活動リーダーの養成

＊里山あそび塾（インタープリターの会に委託）

子ども・親子向けのプログラム：年4回（H18）

